

令和6年度 下水道維持管理業務取組み発表会

発表概要

所属 多々良川浄化センター
発表タイトル グーグルマップを活用したマンホールの把握
取組の目的 今までマンホールの位置情報は当初に作成された紙媒体の地図で管理しており、都市開発により図面と現地が異なってきている。そのため、マンホールの点検履歴の確認、溢水時のマンホールの特定または有害物流入時の流入経路の把握に時間を要する懸念があった。このため、マンホール位置及びマンホール周辺状況の把握の容易性の向上に取り組んだ。
取組内容 マンホール位置の正確な座標を割り出し、長期にわたり運用される流域幹線に対し変化していく周辺状況に左右されず、マンホール位置の把握を容易にするため、紙の地図とは異なる利便性を有するデジタル地図の活用を検討した。 具体的には、多々良川流域下水道のマンホールの位置管理にグーグルマップのマイマップ機能を活用することとした。この機能を用いることで、他の人と情報を共有することを可能とし、深さ、破損状況、修復履歴、溢水履歴等のマンホールに付帯するデータ更新も容易なため、データの拡張及びレイヤ機能を利用した一覧性の向上を試みる。 また、本提案は専門的な知識を必要とせず他のセンターへの展開ができることを前提に検討した。
取組成果・効果 ・多々良川流域下水道6幹線全てのマンホール位置をグーグルマップに落とし込んだ。デジタル地図を活用することで、マンホール位置座標を正確なものとし、現在、所有する紙の地図だけでは把握が困難であった現状の幹線マンホール周辺状況等が容易に把握できるようになった。 ・有事の際には該当のマンホールへ最短ルートで辿り着くことや点検の記録をリンクさせることで1つの媒体で管理することが可能となった。 ・スマホ等により位置関係を容易に把握できるようになった。 ・下水道課および流域下水道事務所等との情報共有も可能となった。 ・今後は空気弁についても本システムを活用した管理ができるよう取り組むことを検討している。